



記者発表資料

(県 政)

提供年月日：令和6年(2024年) 5月 27日

部 局 名：商工観光労働部

所 属 名：イノベーション推進課

係 名：モノづくり支援係

担 当 者 名：三浦・早尻

連絡先(内線)：077-528-3791 (3791)

所 属 名：東北部工業技術センター

係 名：繊維・デザイン係

担 当 者 名：岡田・神澤

連絡先(内線)：0749-62-1492

応援します！！高島産地の今と未来！！

滋賀県の地場産業の一つである高島綿織物は、ステテコに代表されるインナーウェアの産地でしたが、近年はシャツやブラウスなどのウェア開発に取り組んでおり、今回、三日月知事よりオーダーを受け、高島ちぢみシャツを制作されました。

また、毎年開催している「ビワタカシマ素材展」にて、高島ちぢみ、高島帆布の新作生地に加えて、新たなブランドの発表を予定されるなど、未来に向けてますますがんばっておられます。このような取り組みを今回ご紹介します。

高島綿織物の歴史（インナーウェアからウェアへの変化）

高島産地は、江戸時代から続く綿織物の産地で、主にステテコに代表される「軽布（けいふ）」と呼ばれる生地と、資材に使われる「厚織（あつおり）」と呼ばれる生地を織っています。高島産地は、生活様式の変化や安価な海外製品の台頭により厳しい状況にありましたが、平成24年に「高島ちぢみ」を地域団体商標、平成25年に「高島颯布（帆布）」を商標登録し、素材開発とブランディングに取り組み始めました。

その中で、高島ちぢみはステテコや肌着だけでなく、ちぢみのもつ吸水性や伸縮性、肌触りを活かし、シャツやワンピース、ジャケット用の生地としても拡大してきました。

令和元年には高島ちぢみのブランド基準やロゴを一新し、「意識しない、気持ちよさ。」をキャッチコピーにリブランディングにも取り組み、国内外での市場の拡大を図っています。



高島ちぢみ、高島帆布のロゴ

高島ちぢみの特徴

- よこ糸に強撚糸と呼ばれる通常の糸に追加して撚りをかけた糸を用いて織り、型を使って生地表面にしぼ（凹凸）を出しているのが特徴の生地。
- しぼの形状により「ピケ」や「波シボ」と呼ばれる。
- 優れた吸水性とさらりとした肌触り。



高島ちぢみ(ピケ)生地



高島ちぢみ(波シボ)生地

知事のシャツの特徴

- びわ湖沖から遠くを見たときの湖面をイメージした生地で、綿100%
- インナーに使われる高島ちぢみよりも凹凸が少なく、ハリのあるしなやかな生地。
- 水に濡れた時の縮みを少なくした扱いやすい生地。
- 抗菌防臭性付与。
- 襟はしっかりとさせ、きちんと感を演出。
- 動きやすさを考慮し、背中にタックが入っている。
- ボタンにはびわ湖産のイケチヨウガイを使用。



第39回ビワタカシマ 2026年春夏素材展

- 令和6年11月6、7日 東京展（JFW JAPAN CREATION 2025に出展）
- 令和6年11月～令和7年1月（会期未定） 大阪展（日本綿業会館本館にて単独開催）



R5年度ビワタカシマ素材展(東京展)



R5年度ビワタカシマ素材展(大阪展)

参考資料（法令、用語説明、データ等）

- ・ 高島織物工業協同組合
高島綿織物の産地組合であり、令和6年4月現在の組合員数は31者。
たて糸の準備工程を担う工場を有する。
- ・ 高島晒協業組合
高島綿織物の産地組合であり、高島織物工業協同組合の組合員のうち、軽布を製造する事業者により設立。令和6年4月現在の組合員数は8者。
織物にしぼをつける整理加工のほか、染色加工の工場を有する。